



聖カタリナホール

パイプオルガン完工 40 周年記念番組

オルガン・ワールド in カタリナ

1981 年 12 月パイプオルガン完工

1979 年聖カタリナホール落成



↑ 組立中



♪ 聖カタリナホールのオルガンの歴史

解説 須藤 宏 氏 (オルガン製作者)

♪ 演奏

J.S.バハ 前奏曲とフーガ 木短調 BWV548

C.フランク 前奏曲、フーガと変奏曲 Op.18

その他

演奏者 木下 郁子 氏

神奈川県立横須賀高校を経て東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽院にて研鑽を積む。ピアノをクリストフ・リースケ、井口愛子、井上直幸、小林出各氏に師事。受洗を機にオルガンを始める。練習楽器を借りて須藤オルガン工房を訪ねるうちに、工房の仕事を手伝い始める。オルガン製作、メンテナンス全般を須藤宏氏のもとで学ぶ。並行して聖グレゴリオの家において教会音楽を学び、ドイツ国家資格の教会音楽家Bを取得。オルガンを菅哲也、ジャン＝フィリップ・メルカールト各氏に師事。カトリック横須賀三笠教会オルガニスト。

設計は須藤宏氏。製作・組み立ては須藤オルガン工房。パイプ数 2591 本、ストップ 38、3 段の手鍵盤とペダル鍵盤。フランス様式。1800 年代のフランスのオルガン製作者カヴァイエ・コルの様式を手本にしたもの。須藤オルガン工房第 3 作。製作に 3 年、聖カタリナホールでの設置に 5 ヶ月を要した。

2001 年 3 月 24 日、芸予地震の際、パイプ脱落という大きな被害を受けた。多くの音楽愛好家や地域の方々からのご寄付とご協力により、翌 2002 年に修復。



その後、感謝の気持ちを含めて、年齢を問わず広く地域の皆様にオルガンの音色を楽しんでいただこうと、毎年大学祭のイベントとして無料の演奏会を企画（修復感謝演奏会から 2019 年まで 18 回）。

愛媛 CATV 放送日程—初回 10/30 (土)

9:00~10:00 (E おんがくチャンネル 113ch)